News Release

平成２８年５月１１日

～安全・快適でより利用していただきやすい鉄道を目指して～

東淀川駅付近の「開かずの踏切」を廃止し、橋上化します

当社は踏切障害事故の削減に向けた取り組みを進めていますが、ＪＲ京都線東淀川駅の前後に位置し、最大遮断時間が当社管内で最も長かった南宮原踏切、北宮原踏切を廃止することになりましたのでお知らせします。これに合わせて東淀川駅を橋上化します。

これからも安全・快適でより利用していただきやすい鉄道を目指していきます。

１．東淀川駅周辺の現状・課題

○北宮原・南宮原踏切

踏切名	踏切遮断時間（平成 26 年調査による）	踏切横断長
北宮原第 1 踏切	最大 56 分/時（当社管内２番目の長さ）、10.9 時間/日	21.4m
北宮原第 2 踏切	最大 40 分/時、9.3 時間/日	24.8m
南宮原踏切	最大 57 分/時（当社管内最長）、16.3 時間/日	46.8m

※「開かずの踏切」：ピーク時 40 分/時以上遮断

○駅周辺

・線路の東西を行き来する踏切以外の経路（駅地下道、歩道橋）はバリアフリー対応ではないため、交通弱者は踏切を横断せざるを得ない

○東淀川駅

・経年 75 年のため老朽化、通路幅員が狭い

・西口駅舎からはバリアフリー未対応

２．事業計画

○踏切廃止・自由通路新設（大阪市との共同事業）

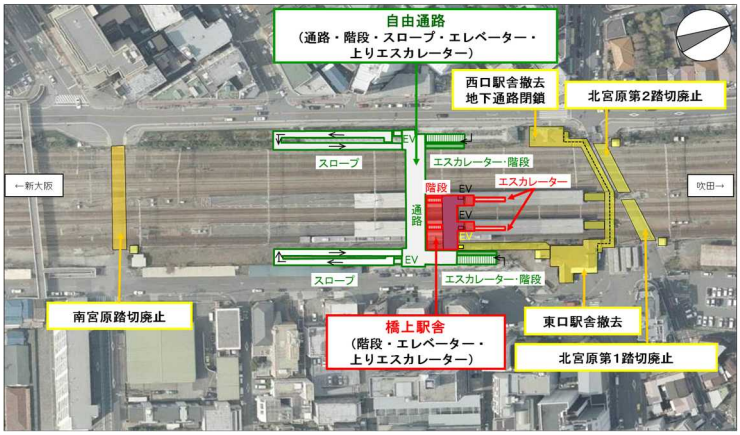
・踏切の代替となる自由通路（階段、スロープ、エレベーター、上りエスカレーター）を整備

・自由通路の使用開始に合わせて踏切・駅構内地下通路の廃止

○駅橋上化（当社事業）

・既存の駅構内こ線橋を活用し、自由通路に接続する橋上駅舎を整備

※平成 30 年末頃の踏切廃止、施設の使用開始を目指します



事業計画図

３．効　果

○踏切廃止により、重大事故を未然に防止

○自由通路新設により、踏切の遮断待ちをすることなくバリアフリーに東西方向を通行

○駅橋上化により、駅西側からもバリアフリー対応、快適で利用しやすい駅に